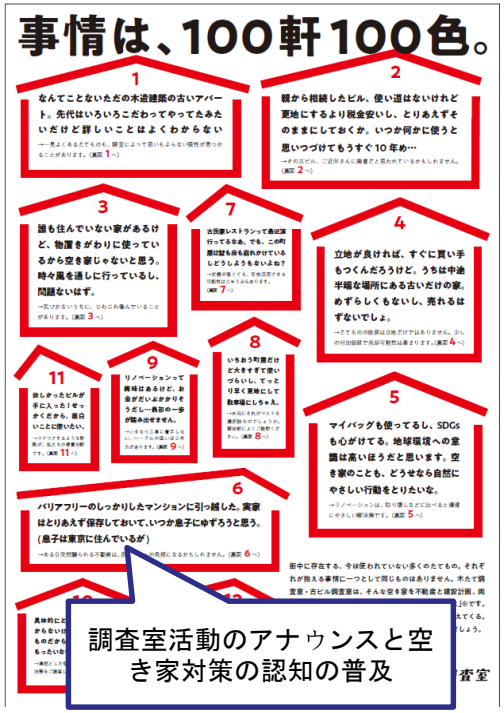
木造たてもの調査室（空き家診断）（有限会社E.N.N）

別添資料4

課題	これまでの「空き家バンク」という中性的なデータベースでは、そのあとの関係メンバー（所有者、自治体、提携団体、利活用者）の行動、判断を誘発するに至らなかったのではないか
目的	関係メンバー（所有者、自治体、提携団体、利活用者）の行動判断、そして利活用に結びつく情報化手法の確立
取組内容	【1】＜調査フローの整理・システム化＞ 【2】＜調査モデル事例の公開準備と選定、基準と要件の整理＞ 【3】＜モデル調査の実施＞ 【4】＜調査事例のプロセス公開と報告のサイトのリリース＞ 【5】＜利活用サポート事業への橋渡し＞
成果	１）金沢市、珠洲市での調査室活動のアナウンスと空き家対策の認知の普及 ２）珠洲市において自治体と協働した調査実績（珠洲エリア５件、金沢エリア３件） ３）実施された調査から抽出された調査要件リスト ４）調査フロー（金沢モデル、珠洲モデル）の整理・各地の「空き家バンク」を補完する「調査室」という考え方 ５）R不動産、reallocalという、メディアサイト公開とそこからの反響